～工具ひとつに想いを込めて…。～
■お客さまの多様なニーズにお応えいたします。
■工具ひとつから受注対応し、お客さまとの絆を築きます。
■専門企業ならではのきめ細かなサポートをお約束します。
匠
私たちは、ダイヤモンド工具の製造メーカーです。
N.D.I 名古屋ダイヤモンド工業株式会社

6月号
2024年
（令和6年）
第577号

中部機工新聞

発行所
株式会社 中部機工新聞
〒460-0003
名古屋市中区錦2-12-8 御幸本町ビル3F
TEL 052(265)5103
FAX 052(265)5104
購読料 年間5,500円
振込先 三井住友銀行 梅田支店
口座番号 普通 9655353

NITTO KOHKI
日東工器株式会社

ロボテクが自動化をリード

産業用ロボ・自動化S専門展

7月4日～6日 後半の需要喚起担い開催

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

産業用ロボットと自動化システムの専門展『ROBOT TECHNOLOGY JAPAN（ロボットテクノロジージャパン、略称：RTJ）2024』は、7月4日(木)～7月6日(土)の3日間、愛知県常滑市のAichi Sky Expo（アイチ・スカイ・エキスポ、愛知県国際展示場）で開催される。

主催はニュースダイジェスト社（名古屋市千種区、社長＝樋口八郎氏）、共催は愛知県機械工具商業協同組合（名古屋市熱田区、理事長＝水谷隆彦氏・ミズタニ機販）、後援は経済産業省、愛知県。

人手不足、物流問題を目の当たりにして、ものづくり業界は混沌としている。もちろん目指すところは『自動化・省力化』に他ならないが、カーボンニュートラル、DXへの取り組みと並行して推進しなければならない。

市場は自動車、工作機械、半導体の動向に大きく左右され、現状においては調整局面、まだら模様という表現をされている。

多数の来場者が集う前回展の会場内

今回第2回目の開催を迎えた『RTJ』であるが、スッキリしない現状を払拭し、2024年後半の上昇機運を背景に、ロボットが周辺装置、機器とコラボレーションして生み出す効果をひとつでも多く提案し、需要の喚起を図る起爆剤となる事が期待されている。

開催規模については、出展者数244社・団体で、1千320小間（5月20日時点）で、前回展（2022年）に比べ出展企業・団体は20・8％、小間数は20・4％拡大している。「前回はコロナの影響で、出展を止まった企業も多くあるようだが、今回その分勧誘を強化した」と主催者。

「実行委員会（委員長＝森田乾嗣氏、モリタ）を中心に、動員に傾注した」と共催者。

「1回目の評価を上回る高い評価を得ることで、真価が問われる。ここまでそれを強く意識して運営に取り組んできた。動員についても目標の4万5千名を完遂したい」と両者はスクラムをしっかり組んで、自信をのぞかせている。

なお、会期中の開催時間は10：00～17：00（最終日16：00まで）

入場料は大人1千円。

（公式ウェブサイトからの事前登録者、海外来場者、学生は無料）。

https://robot-technology.jp/visitor/toroku/

対象出展製品

垂直多関節・水平多関節・パラレルリンク・直交・協働など各種産業用ロボット、ガントリーローダー、AGV／AMR、自動倉庫、ソーター、マテハン装置・機器、ピッキングシステム、その他物流機器、各種ハンド、ロボット構成部品、周辺機器、各種センサー・制御機器、ソフトウエア、AI・IoT 関連装置およびシステム、ロボット搭載機械・装置、自動化技術提案など。（サービスロボットや介護ロボットなどは対象外）

システムの構築を提案

物流・食品・包装など対象拡大

出展内容については、主要な大手ロボットメーカーだけでなく、ロボットハンドやセンサーなどの周辺機器、無人搬送車（AGV）、計測システムなど、自動化に関わる幅広い分野を対象としている。

工作機械などの大手産業機械メーカーも多数出展しており、産業用機械や機器と産業用ロボットが連携した実用的な自動化システムの展示も注目するところ。また、金属加工分野向けの自動化システムだけでなく、近年急速に自動化が広がりつつある、物流や食品、包装などの業種に向けたロボットの展示もみどころとなる。

体験ゾーン、ロボット実習体験装置

双腕ロボットクレーンゲーム

一方、ロボットの現場への設置やシステム構築を担うシステムインテグレータ（SIer、エスアイアー）で構成する『SIerゾーン』を設置。同ゾーンでは、実践的で現場の用途に近い〝ロボットの使い方〟の展示も見込まれ、より具体的な導入イメージを描ける場になる。

このほか会期中には、地元の常滑市の小学生や、愛知県が主導する『高校生ロボットシステムインテグレーション競技会（SIリーグ）』に参加する県内外の高校生が団体で見学に訪れる予定もあり、学生のロボットへの関心を高めることにも貢献する。

さらに、会期を通じて会場内で実施するセミナーでは、大手ロボットメーカーやSIer、大手ユーザーなど幅広い業種や立場から講師を招き、ロボットメーカーが描く現場の将来像や、厳しい条件で自動化に取り組むユーザーの事例など、連日講演が行われる。

なお、主催者企画展示として、前回展に続き『産業用ロボット体験ゾーン』（一部写真）を設置。人と同じ空間で稼働する協働ロボットとのゲーム形式の対戦や、ロボットに動作を指示する教示作業の体験などを通じて、産業用ロボットの魅力と理解を深めてもらう展示内容である。

（関連頁2～4頁）

WCTC2024

国際連携で発展を共有

世界17カ国代表が大阪に集結

世界切削工具会議2024（WCTC2024）が5月21日から24日までの4日間、大阪市内の大阪国際会議場（グランキューブ大阪）をメイン会場に開催された。日本での開催は2013年に、アジア圏で初開催となった京都会合に続いての2回目で、大阪会場には世界17カ国から142名の経営者・技術者の代表が参加し、交流を深めた。

WCTCは、欧州団体のECTA（European Cutting Tool Association）の元理事長が発起人となり、米国のUSCTI（United States Cutting Tool Institute）への働きかけにより、世界切削工具会議（WCTC）として、1998年4月に米国・フロリダで第1回が開催企画されたもので、今回で第8回となる。日本も、第1回開催より、当時の日本工具工業会の代表が参加以来、毎回参加している。

開催国JTAの松本克洋会長

開会初日の21日夜に大阪市内のANAクラウンプラザでのウエルカムパーティが開かれたのに続き、翌22日午前には、大阪国際会議場で開会式が行われた。

はじめに開催国を代表して、日本機械工具工業会（JTA）の松本克洋会長代表理事（不二越執行役員工具事業部長）があいさつに立ち、歓迎の言葉に続き、WCTC発足の経緯にふれたあと、「日本の業界団体であるJTAは、2015年に当時の日本工具工業会と超硬工具協会が統合し発足した。今年で9年目となるが、統合前の両団体は共に1948年に設立されており、実質的には76年の歴史を持つ」とした上で、「設立目的は、わが国機械工具製造業の健全な発達を図り、わが国産業経済の発展に寄与すること。現在は、正会員82社・賛助会員57社が加盟しており、組織的には総会、理事会の基に、コンプライアンス、総務、技術、環境、国際の各委員会を中心に様々な活動を展開している」と活動状況を報告した。

次いで、日本経済の現状や主要産業である自動車や工作機械業界の直近の開発状況や受注・生産等の市場動向を報告したのに続き、国内の切削工具業界の現状について言及。

「国内の生産額は18年度に33・3億ドルの実績を挙げたが、コロナ禍の影響で落ち込み、現在は新製品開発や新たな市場開拓等により、回復傾向にある。特に、輸出や海外生産など増加傾向にあり、全体的に海外比率が高まっている」と、こう続けた。

「24年度は生産額として34億ドル（5千億円）が目標。ウクライナや中東情勢などの地政学リスクに加え、原材料価格の高騰など、先行きの見通しは不透明だが、EV化などの産業界での変革の波が進む中、ワーク材料や加工法など、新たな工具需要の市場開拓に期待し、目標達成へ前向きに取り組んでいく」と強調した。

日本に引き続き、欧州、米国、韓国、インドの各業界団体の代表による発表が行われた。

大阪で開催された世界切削工具会議

この中から、YG1のHokeun Song社長がレポートを務めた韓国をピックアップすれば、経済成長が低迷する韓国経済の現状について、「人口減少や高齢化に加え、労働時間の制約や休日増などの国内事情と共に、けん引力となってきた電機・電子機器産業の停滞などが要因」とまずは分析。

そして、切削工具業界についても、「内需よりも輸出割合が多いのが特長だが、生産額は足踏み状態。最近では安価な中国製品が市場に浸透している。主力の自動車産業ではエコカーの需要が増加しているが、EV車よりハイブリッド車のウエイトが高まる見通し。デジタル化の進化などによる市場の変化に対応するためにも、組織や技術の再編が不可欠となる」と述べた。

また、インドのレポートでは、「国の方針として、製造業の拡大を推進しており、世界の工場との期待が大きい。人口の3分の2（10億人）が35歳未満の若く、ITに強い人材が多い」と成長への勢いをアピールした。

このあと、スポンサースピーチとして、牧野フライス精機の清水大介社長が登壇。世界最高水準との評価の高い工具研削盤の開発と技術革新の取り組みや、最新の極小径工具研削盤の特長や今後の展開などを紹介した。

プログラムの最後は、宇宙ビジネスに取り組むアストロスケールホールディングスの岡田光信創業者兼CEOを講師に、「令和時代の起業家精神」をテーマとした講演会に移った。岡田氏は、「課題とはあるべき姿と今の姿の差異であり、あるべき姿をどのように思い描くかで課題は変わる」という「課題方程式」を、『あるべき姿』から『現実』をマイナスしたものが『課題』である」と説き、自らの起業経験で培った持論を展開した。

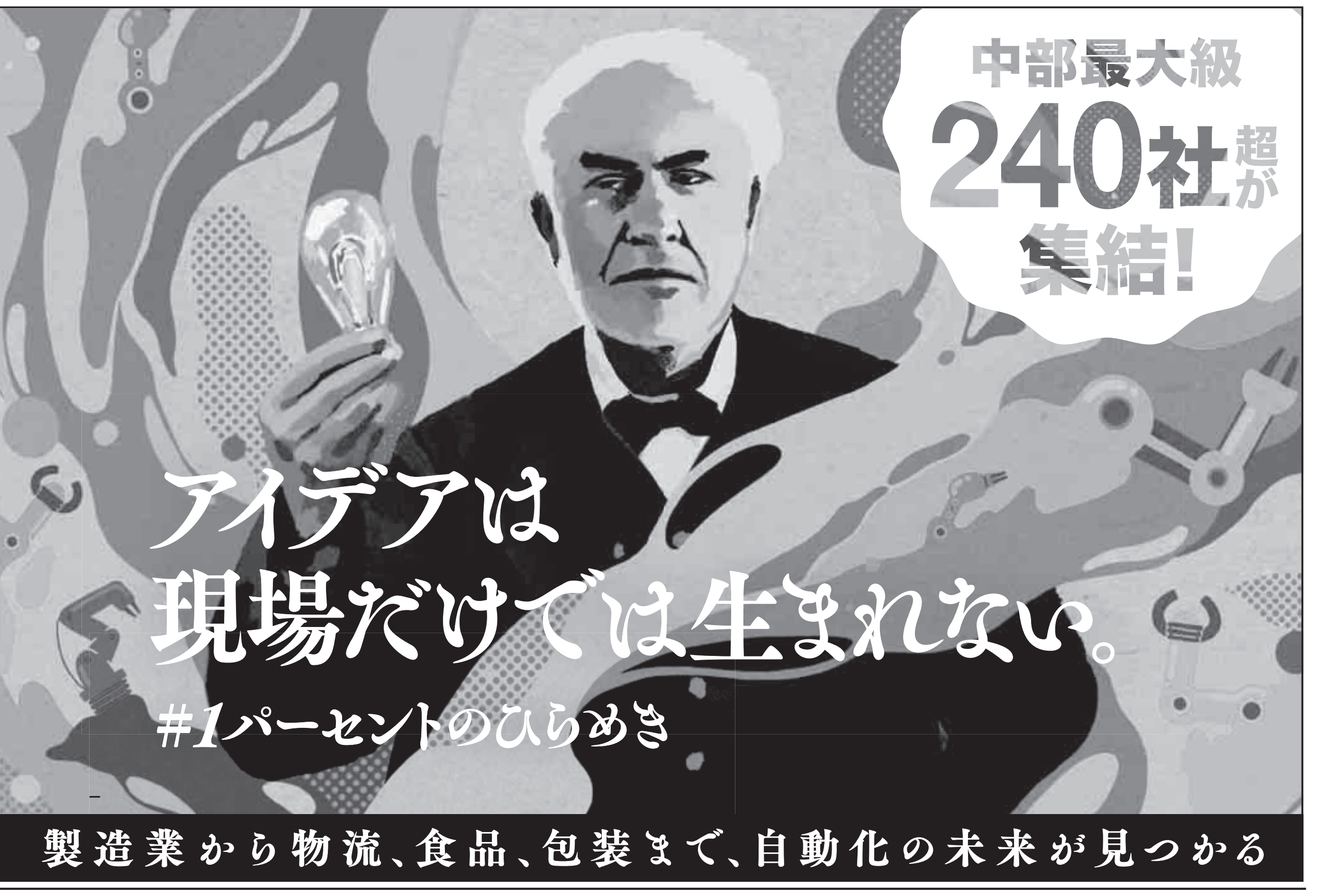
なお、WCTC2024は、22日午後からは工場見学会（MSTコーポレーションなど）、レセプションを実施。続く2日間も講演会（トヨタ自動車など）・スポンサースピーチ（和井田製作所など）や交流会（大阪城ツアー、住吉大社特別拝観）などで親交を深め、互いの躍進を誓い合い、24日の閉会式で終了した。

産業用ロボット
自動化システムの専門展

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
ロボットテクノロジージャパン

期間 2024.7.4(木)－6(土)
開催場所 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
開催時間 10:00－17:00 最終日6日(土)は16:00まで
入場料 大人1人1,000円 10人以上の団体は1人500円
ただし、公式ウェブサイトからの事前登録者、海外来場者、学生は無料

事前来場登録はコチラから！▶
入場証を印刷し、会場にご持参ください。
https://robot-technology.jp
ロボットテクノロジージャパン


中部最大級
240社超が集結！
アイデアは
現場だけでは生まれない。
#1パーセントのひらめき

製造業から物流、食品、包装まで、自動化の未来が見つかる

RTJ出展者一覧

244社・団体、1千320小間

アイエイアイ、ICOP、I.T.G.、愛知県、愛知産業、IDS Imaging Development Systems、IDECファクトリーソリューションズ、アサ電子工業、アジリル、アスク、アナログ・デバイセズ、アフレル、アラインテック、ARMA、アルマーク、安藤、イグス、IZUSHI、井高、イチグチ、伊東電機、井上鉄工所、イマオコーポレーション、イリス、イルメジャパン、イワタツール、インプローブ、エイテック、SSI、SMC、エヌアイシ・オートテック、NKKスイッチズ、エヌティーツール、FNS、MES甲信、MSTコーポレーション、Elite Robot Japan、エンシュウ、遠誠、オーエスジー、オークマ、オーツカ光学、オーム電機、岡谷鋼機、沖電線、オリエンタルモーター、オリオン機械、カサイ製作所、カトウ工機、カネキタ、北川鉄工所、キトー、岐阜機械商事、キャプテンインダストリーズ、京セラ、共立精機、クラボウ、倉茂電工、グリーンプラス、こうら、コスメック、小原歯車工業、小森安全機研究所、近藤製作所、コンバム、SAWA、三桜工業、三機、三共製作所、三桂製作所、三明、山陽マシン、サンワテクノス、三和ロボティクス、CKD、ジーニック、ジーベックテクノロジー、シチズンマシナリー、シナノケンシ、芝浦機械、シュマルツ、シュンク・ジャパン、Thinker、進和、SuZhou ZONGWEI Technology、スギノマシン、スターテクノ、ソリッドワークス・ジャパン、大喜産業、大昭和精機、ダイドー、ダイトーエムイー、ダイヘン、TAIYO、高松機械工業、高丸工業、タキゲン製造、田口鉄工所、竹中電子工業、タツタ電線、タナック、タマディック、チトセロボティクス、中央工機、中部地域SIer連携会、中部部品加工協会、ツガミ、津田駒工業、テイアイテイ、THK、DMカードジャパン、DMG森精機、TMW、帝華機械、データ・デザイン、テクノア、テクノダイナミックス、テクノ21グループ、TECHNO REACH、テクロック、TECHMAN ROBOT、Tebiki、デンソーウェーブ、東亜精機工業、DOBOT JAPAN、トゥーワン、東京エレクトロンデバイス、東京精密、東陽、トーチョーマーキングシステムズ、トライエンジニアリング、Troaxセーフティシステムズ、NaITO、ナカニシ、長野日本無線、長堀工業、中村留精密工業、ナベヤ、鍋屋バイテック会社、新潟精機、ニコン、日刊工業新聞社、日研工作所、日進機工、ニッセイ、日星電気、日東工器、日本ベアリング、日本ストラタステクノロジー、日本精工、日本トムソン、日本ピスコ、日本ロボットシステムインテグレータ協会、ノガ・ウォーターズ、ハーモニック・ドライブ・システムズ、ハイウィン、ハイデンハイン、パスカル、羽根田商会、ピアブ・ジャパン、bpジャパン、ファナック、Phoxter、FUJI、フジキカイ、二村機器、フッパー、ブラザー工業、ブリヂストンソフトロボティクスベンチャーズ、フレアオリジナル、Beijing Surestar Technology、ベッコフオートメーション、牧野フライス製作所、マグネスケール、松本機械工業、丸紅情報システムズ、三木プーリ、三井物産マシンテック、ミツトヨ、ミニター、武蔵エンジニアリング、Mujin、ムツミ工業、ムラキ、村田精工、明和eテック、Mech-Mind、モリタ、森哲、MOLDINO、安川電機、安田工業、柳瀬、山岸製作所、ヤマザキマザック、山下機械、ヤマハ発動機、豊電子工業、ユニバーサルロボット、ユニパルス、リードテック、リックス、リフター、リモートロボティクス、リンケージ、リンスコネクト、レニショー、ROSECC、ROKAE精機、ロブテックス、robot digest。

（5月20日現在）

RTJ2024出展製品紹介

ミツトヨ

測定器＋αな展示展開

パッケージ化 MiBOT e－system

ミツトヨ（本社＝川崎市高津区坂戸）は、今回のロボットテクノロジージャパンで〝はかる〟がつなぐ、ものづくりの未来」をコンセプトに、測定の自動化・省人化に関する各種ソリューションを展示する。

その中で一押しの製品は、新製品の「MiBOT e－system（マイボットイーシステム）」である。この製品は、現場型CNC三次元測定機MiSTAR555（マイスター555）と協働ロボットとワークストッカーがパッケージ化されている。

一般にCNC三次元測定機も協働ロボットも導入して使いこなせるまでには多くの時間と労力が必要である。その反面現状では人手不足が叫ばれており、あらゆる作業の自動化はまったなしの状況となっている。これらを背景に同社は、自動測定システムをパッケージ化して販売することにより、ユーザが導入するためのハードルを無くした。

MiBOTの販売では、ユーザのワークに合わせ、ワークスストッカーの設計や協働ロボットの動作プログラムの作成も行う。

三次元測定機のパートプログラムは、測定プログラム自動生成ソフトウェアMiCAT Plannerにより、3DCADから自動でパートプログラムを生成できるので、未経験のユーザでもすぐにワークの変更や追加に合わせプログラムを作成することが可能となっている。

MiSTAR555は、温度変化やミストに強い現場型CNC三次元測定機なので、検査室ではない場所にも設置できる。昼休みや夜間でも無人で測定を続けられ、パッケージ販売であることから短期間でシステムの立ち上げが可能となる。

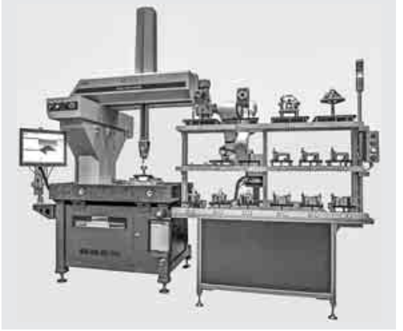
以上のように、MiBOTにおいては、同社に丸ごと任せることで、安心して測定の自動化を実現できる。

新製品では他に、ワークへのアプローチ&リリース時間の大幅な短縮を実現し、様々な現場での使いやすさを追求した『カンタマイクMD－E』なども紹介する。

また、『自動マイクロ測定システム』なども出展する予定である。

小間番号：D37

【問合わせ先】本社☎044（813）8201、名古屋☎052（741）0382


新製品『MiBOT e―system』

中央工機

1年後の自動化見据える

製造現場での省人化など提案

中央工機（名古屋市昭和区高辻町）は、中部地区の製造業に精通した商社ならではの独自の視点から、〝1年後〟の状況を見据えた最先端ソリューション『1年後の自動化スタンダード』をテーマに展示する。

ファクトリーオートメーション、機械加工、測定・分析、金型・治具・ゲージ各事業部門がものづくりの工程をトータルサポートするのが同社の強みで、今展では次の提案力を駆使する。

▽ユニバーサルロボット　協働ロボット新シリーズとなる最新機種「UR20」と「UR30」を展示。「UR20」は高速で多用途が特徴。「UR30」は、従来のモデルの可搬重量を大きく超える30kgの可搬重量が特徴。より大きな作業負荷に対応することができるため、これまで対応が難しかった工程での利用が期待される。

▽LiDARタイプAMRとQRグリッド式AGVのそれぞれの特徴を活かした展示では、来場者に物流ソリューションを全方位で提案する。

▽AIを活用したロボットビジョンでは、一般的な3Dビジョンの課題を克服したばら積みピッキング、挿入、アッセンブリなどのデモンストレーションが実施される。

小間番号：E03

【問合せ先】☎052（889）6377

https://www.chuo-koki.co.jp/

中央工機が提案する自動化ソリューション（イメージ）

日東工器

ロボット搭載製品を拡充

新製品 電動吸着ハンド出展

日東工器（東京都大田区仲池上）は、独自に培った『省力・省人化』技術を生かし、製造現場でのロボット導入を見据え、ロボット搭載製品の拡充を図っている。

今展においても人手不足の解消、自動化ニーズに対応し、社会貢献につながる提案を繰り広げる。

主な出展製品は次の通りで、ロボットメーカー各社とのコラボレーションで提案する。

▽機械加工製品＝①バリ取り：空気式ベルトサンダーB－10RBT－S（10㎜）、②表面研磨：空気式デュアルアクションエアサンダーAPS－125－01。

▽吸着搬送＝①小型ポンプ内蔵　電動吸着ハンド「e－VEE」、②リニア定置式ポンプユニット。

▽ねじ締め・電動ドライバ「デルボ」＝各ロボットメーカーのPlug&Playに順次対応。①DLV70C（カワダロボティクス）、②DLV45C＋ビットチェンジャー（オムロン）など。

▽迅速流体継手・カプラ＝オートカプラ

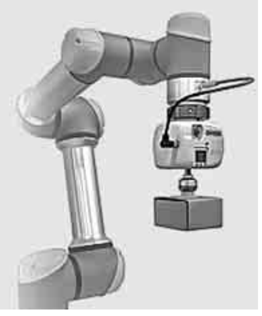
また、注目の新製品電動吸着ハンド『e－VEE（型式＝EVE－500）』は、内蔵したポンプで発生させた負圧により吸着・搬送を行うため、コンプレッサによるエアの供給が不要。従来のコンプレッサを使用したエジェクタ方式より少ない電力で作動するため、消費電力の削減、カーボンニュートラルの実現に貢献する。

なお、コンプレッサで外部から空気を取り込むという従来の方法に比べて、搭載する当社製真空ポンプはオイルフリーで、クリーンな環境での利用に適している。

小間番号：C34

【問合せ先】日東工器　中日本支社☎052（726）9041

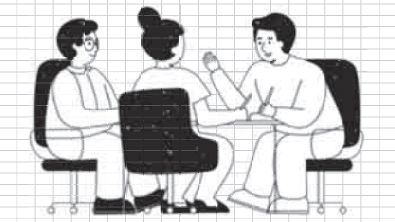
https://www.nitto-kohki.co.jp/


電動吸着ハンド『e―VEE』

ロボットをもっと身近に！
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024　小間番号 E40
『省エネ』をテーマに電動シリンダーを使ったUFOキャッチャーを展示致します。動作等、ご体感下さい。景品も沢山用意しております。是非、こうらのブースへお越し下さい!!
株式会社こうら
本　社　〒456-0065　名古屋市熱田区河田町 115
TEL/052(681)3371　FAX/052(681)3816
エンジニアリング部
〒456-0064　名古屋市熱田区古新町 1-5

量産品検査の内径測定を 効率化+高精度化！
ワークに差し込むだけで穴径瞬間測定
S-LINE PRECISION MEASUREMENT PLUG GAUGE
Sライン精密測定プラグゲージ
▼特集ページ
〝測る〟をつくる。
新潟精機株式会社
URL https://www.niigataseiki.co.jp
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024　07.04(木)－07.06(土)　Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
小間番号 ホールC C08

ホールE E30
株式会社森哲
切削・生技・部品加工
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024 ロボットテクノロジージャパン



非鉄用 DLC 超硬エンドミル
AE-TS-N・AE-TL-N・AE-VTS-N・AE-VTFE-N
非鉄加工に最適
A The A Brand
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
ブースNO. ホールC C37
オーエスジー株式会社

産業界のコンダクターが
FA&Robot
ソリューションで未来を拓く
▶名古屋ロボット館 ☎052-583-6210
▶東京ロボット館 ☎03-3676-9211
▲三河オートマチックファクトリー
☎0566-96-5075
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024　小間番号 D-40
https://www.daido-net.co.jp
メカトロニクス技術商社
ダイドー株式会社
名古屋本社／名古屋市中村区名駅南4－12－19 (052)533-6705(代)
東京本部／東京都江戸川区瑞江4－39－6 (03)3676-9111(代)
大阪本部／大阪市西区安治川1－2－8 (06)6581-1161(代)

RTJ2024出展製品紹介

ダイドー

NEXT・AI×ロボットモジュール
様々なソリューションを展示

ダイドー（名古屋市中村区名駅南）は、『NEXT・AI×ロボットモジュール』をテーマに今回出展する。同社は、ロボット単体からロボットシステムまでの構想・導入支援など一貫したサポート体制を確立しており、名古屋をはじめとする国内3カ所で稼働する『ロボット館（施設名）』で実績を積み上げている。

今回は、この国内最大級のロボット事業を背景に次の具体的な提案を行う。

▽自走台車「YOUIBOT P200」に搭載された協働ロボット「DENSOWAVE COBOTTA Pro」が、ブース内を自由に動き回りコンテナを移載・搬送するなど、工程間搬送の自動化を展示。

YOUIBOT+COBOTTA Pro

▽「Mech-Mind LNX8300」による、黒ゴムタイヤの表面上の文字を高速・高精度にプロファイル測定する展示。

▽6軸多関節ロボット「EPSON C8」が倉敷紡績「KURASENSE」にて「揺れる」「柔らかい」「線状物」であるスピーカーケーブルを検出し、アンプに挿入する展示。

▽「FANUC CRX-10iA」がオートツールチェンジャー「SCHMALZ MATCH」によってツールを使い分け、缶詰とトレーを搬送する展示。手動・自動両方に対応した協働ロボットでのツールチェンジを提案。

▽「FANUC CRX-5iA」がバラバラに積まれたコインを「Mech-Mind NANO」で検出し、種類別に整列する展示。

▽「FANUC CRX-20iA／L」＋「セザキ 高速連続ねじ締め機」の展示。高速連続ねじ締めによりタクトを短縮し、360°あらゆる方向から協働ロボットでのねじ締めを実現。

▽「FANUC CRX-10iA／L」を「NIC 協働ロボット専用架台」に搭載し、ダイレクトティーチの体験展示－など。

小間番号：D40

【問合せ先】ダイドー☎052（533）6705

https://www.daido-net.co.jp/

山下機械

手作業を協働ロボが代行
生産アップへの自動化等提案

山下機械（名古屋市熱田区中田町）は、工場の人が関わる作業の自動化と省人化を提案する。

製造業に携わる顧客からの工場全体の省人化への要望を受け入れ、それに応える新たな提案として、台車や架台に協働ロボットを搭載し、AMRなども活用した自動化を紹介する。

協働ロボットとAMRを合体させた場合、協働ロボット稼働中AMRは停止状態となる。また、素材と完成品ストッカーを含んだ自動化装置は、高額でスペースが大きくなってしまっていた課題について提案する。

台車に協働ロボの自動化モデル

具体的な事例は次の通り。

【協働ロボット台車搭載タイプ】

手作業の機械に協働ロボット付き台車を設置するだけで、ロボットに搭載されたカメラにより、設置時のロボットの再ティーチング作業、そしてドアの開閉と加工ワークの脱着から機械起動までの手作業をロボットに代行させる。

作業者の突然の休みや定時後も生産を継続可能として、手動機を改造せず必要な時に自動化できる。

【協働ロボット搭載架台・パレットをAMRで運ぶシステム】

架台に搭載されたビジョンカメラ付き協働ロボットは、パレット上にラフに置かれたワークでもカメラで位置を確認してピックアップ、治具への取り付けを可能にした。簡易パレット架台を採用し、今まで加工ラインに使用されていた高額でスペースが必要なストッカーと置き換えることでコストを削減。適時・適所に部材を供給し、自動化できるシステム。

また、現状のフォークリフトなどでの重量物搬送をAMRに代行させることで、作業者の荷重労働低減とケガの削減に繋げる。

これらの新提案により、工場内の人による作業を自動化と省人化を実現し、人手不足など生産現場の課題解消を目指す。

小間番号：E17

【問合せ先】☎052（682）2111

http://yamashita-machinery.com/

モリタ

〝ちょこっと〟自動化提案
小型ロボットシステムなど紹介

モリタ（名古屋市中区上前津）は、人手不足を背景に製造現場が取り組む『省人化・自動化』の中で、現状設備の自動化できるところから、投資額を抑えた〝ちょこっと〟自動化をSIerの視点で提案する。

出展ブースでは、小型ロボットを使用したコンパクトなシステム、省エネ・コスト低減に繋がる製品群を共同出展者とのコラボレーションで層を厚くして、広く紹介する。

その一例となるのが、次の製品群である。中国製の協働ロボット『DOBOT MG400』は、A4サイズ紙より小さい19cm×19cmの占有領域の超小型デスクトップ用ロボットアームで、販売契約権を持つ共同出展者のアスカと、産業用機能を持つ上、手頃な価格と言った付加価値性の高さをアピールする。同製品は最大可搬質量750g、最大リーチ440mm。

現状設備を基にした自動化提案の一例

ハーフオートメーションを推進するPLANSEED（プランシード）とのコラボレーションでは、自動化する部分を絞り投資額を抑えた上で、最大の能力を発揮できるシステムの導入をサポートする。この他、世界初の長繊維炭素技術で最高度の強度のパーツ造形可能な『Markforged社製（米国）3Dプリンター』をデータデザインとのコラボで紹介し、ロボットハンドなどの試作品を揃え、自社で簡易に製作できるノウハウまで提供する。

また、ロボット本体と先端のジョイント部分を業界初のエアレスを実現した『電動ハンドチェンジャー』、機能を低下させずに超小型化を実現したエアーコンプレッサ（提供元：コガネイ）などをラインナップ。現状と大きく変化させない範囲での省人・省エネ化も提案する。

小間番号：E27

【問合せ先】☎052（322）5522

https://www.morita-co.co.jp/

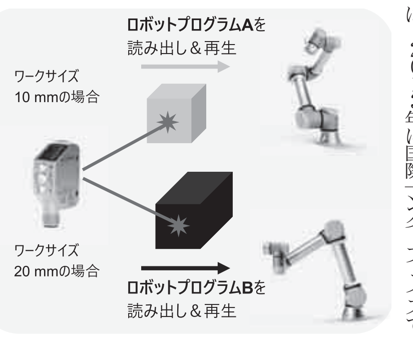
森　哲

IO－Linkと協働ロボ
多品種生産への対応提案

森哲（名古屋市瑞穂区御劔町）は、国内でも導入が急増している『IO－Link』のさらなる普及を目指し、その活用を推進している。

IO－Linkは、2013年に国際規格IEC61131－9として規定された産業用センサー及びアクチュエータ（I／O）用デジタル通信インターフェイスで、従来のON／OFFやアナログ的な測定値などI／O機器本来のI／O情報に加え、診断情報やステータス情報の提供が可能になる。

エンジニアリングツールを使用し、デバイスの管理やパラメータ変更などリモートメンテナンスも容易に行うことができることで注目を集めている。



リモートI/Oが持つ簡易制御機能（ＦＬＣ）の活用例

今回の展示では、TURCK社のIO－Linkマスタ（リモートI／O）やIO－Linkデバイスを展示する。

デモンストレーションでは〝協働ロボット（UNIVERSAL ROBOTS）による多品種生産への対応〟をテーマに、TURCK社のリモートI／Oが持つ簡易制御機能を活用し、レーザーセンサーでサイズの異なるワークを識別、該当のロボットプログラムを読み出し実行する動作を観覧することができる。

また7月5日（金）・6日（土）には、『ロボット販売.com』を招いて、中古ロボットの買取販売のパネル展示も行う。運営するSエンジ販売では、FA機器の保守メンテナンスから機械設備の搬入及び設計製作まで幅広く行っており、ロボットの選定・設置・アフターフォローまで、ユーザーニーズに寄り添った提案をする。

小間番号：E30

【問合せ先】☎052（871）0221

https://moritetsu.co.jp/

RTJ主催者セミナー

▽7月4日（木）基調講演「ロボットが現場を変える」＝①「安川電機が考える未来工場～進化する姿～」、②「知能統合プラットフォームが実現した次世代DX工場／倉庫」

▽7月5日（金）＝①ロボットとAIによるモノづくりの未来（WRS2025開催記念シンポジウム）、主催：愛知県。②「SIer's Day in 中部（愛知）」、主催：日本ロボットシステムインテグレータ協会。

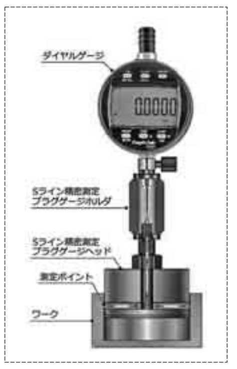
▽7月6日（土）＝特別セミナー「ロボットでこんなことも！最新活用法」＝①「狭小スペースにおける作業自動化への挑戦」、②「地域のエンジニアが地域の子どもたちを育成する次世代エンジニア育成プログラム」。

新潟精機

瞬時に高精度穴径測定
Sライン精密測定プラグゲージ出展

新潟精機（新潟県三条市林町）は、差し込むだけで瞬時にワークの穴径測定を行える、高精度穴径測定器『Sライン精密測定プラグゲージ』をロボットテクノロジージャパン2024に出展する。

昨年のメカトロテックジャパン2023出展時に注目を集め、今回も大型展示会での有効的なPRで、来場者の関心が高まるのは必至である。


ダイヤルゲージ
Sライン精密測定プラグゲージホルダ
Sライン精密測定プラグゲージヘッド
測定ポイント
ワーク

Sライン精密測定プラグゲージ

「穴径測定」については、測定者の熟練度によって測定値が変動してしまう。一方、シリンダゲージで測定をすると正確性に欠け、量産品検査となると長時間要してしまうのが現場の悩み。それを解決したのがSライン精密測定プラグゲージである。

Sライン精密測定プラグゲージは、現場のワークに合わせたオーダー製のヘッドと、現場の測定環境に合わせたホルダ等の周辺機器を組み合わせた測定システムで、また、ダイヤルゲージや電気マイクロメータ等のφ8システム測定器と組み合わせることにより、これまでの穴径測定以上に効率的かつ高精度に行える。

さらにメリットとしてあげられるのが、ヘッドの底面を穴の底面に当てながら測定をすることで、測定が安定する。任意の測定ポイントに合わせた専用ヘッドをオーダー製作でき、球状測定子による点接触となるので、ピンポイントでの測定が可能になる。プラグゲージ等の限界ゲージとは異なり、穴径の測定結果を数値で管理することが可能である。

また、デジタルタイプのダイヤルゲージや電気マイクロメータと組み合わせることで、PCへ測定値を転送・確認が行えるなど。

但し、ワークに対して専用設計のため、測定範囲が小さい面もあるが、これも量産品のワークに対しては、「測定範囲を狭くすることができるため、精度の高い測定が行える」という大きなメリットとなる。

誰でも簡単に、効率的で高精度な穴径測定ができる、Sライン精密測定プラグゲージに注目したい。

小間番号：C08

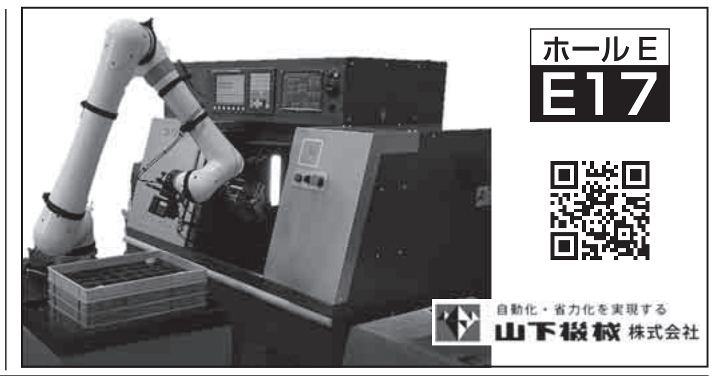
【問合せ先】PT事業部☎0256（33）5502

https://niigataseiki.co.jp/lp/s-line_plag_gauge/

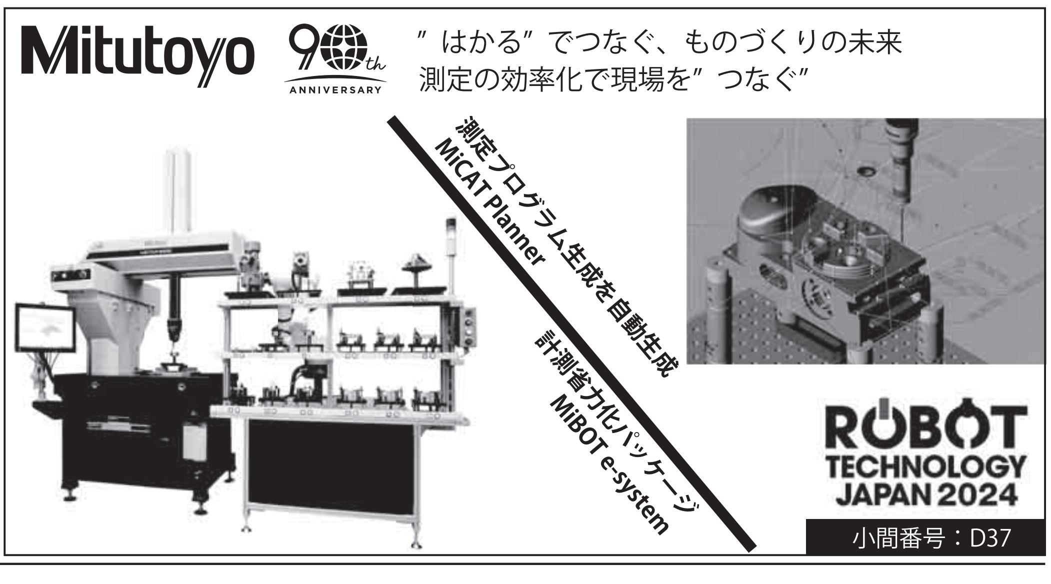
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
小間番号：E27
将来を見据えた技術情報商社
MORITA
精密測定機器 工作機械・専用機 省人・省力化設備 自動計装システム 工場環境改善工事
株式会社モリタ
営業本部 〒460-0016 名古屋市中区橘1丁目10－1 TEL〈052〉322-5511 FAX〈052〉321-0676
名古屋・豊田・刈谷・小牧・北九州・仙台・太田

NITTO KOHKI 省力・省人化技術で、人々の暮らしを支えます。
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
ホールC C34
新製品 イーヴィー
e.VEE
Electric vacuum end effector
ロボット用エンドエフェクタ
電動吸着ハンド
コンプレッサ エア不要
LINEAR
技術で、人を想う。
日東工器株式会社
本社・研究所 〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4 Tel:03-3755-1111（大代表）
中日本支社 〒465-0092 名古屋市名東区社台3-173-2 Tel:052-726-9041（代表）

Clean Create Challenge
中央工機
https://www.chuo-koki.co.jp/
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
小間番号 E03


ホールE
E17
自動化・省力化を実現する
山下機械株式会社

中部最大級 240社超が集結！
産業用ロボット・自動化システムの専門展
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
ロボットテクノロジージャパン
期間 2024年7月4日（木）▶7月6日（土）
開催場所 Aichi Sky Expo（愛知県国際展示場）
開催時間 10:00～17:00（最終日は16:00迄）
【主催】ニュースダイジェスト社
製造業から物流、食品、包装まで
自動化の未来が見つかる
アイデアは
現場だけでは生まれない。
#1パーセントのひらめき
事前に入場証の発行
手続きをお願い致します。
共催
愛知県機械工具商業協同組合
〒456-0032 名古屋市熱田区三本松町16－8
tel 052-889-6188 fax 052-889-6189
URL:http://www.aikiko.or.jp
E-mail:aida@plum.ocn.ne.jp


Mitutoyo 90th ANNIVERSARY
〞はかる〞でつなぐ、ものづくりの未来
測定の効率化で現場を〞つなぐ〞
測定プログラム生成を自動生成
MiCAT Planner
計測省力化パッケージ
MiBOT e-system
ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024
小間番号：D37

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

主催者ごあいさつ

株式会社ニュースダイジェスト社
代表取締役社長　樋口八郎

ロボットテクノロジージャパン（RTJ）2024は産業用ロボットや自動化システムの専門展で、愛知県常滑市のAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で開催されます。2回目を迎える今回展は244社・団体、1320小間と、初開催となった2022年展を上回る規模で開催する運びとなりました。これもひとえにご出展者、ご関係者各位のご支援のたまものと、心から厚く御礼申し上げます。

RTJでは、出展の対象を産業用ロボットや周辺機器、無人搬送車や自律走行型搬送ロボット、ロボットが組み込まれた各種機械・設備などに特化しています。製造業が集積する中部地域との相性が良く、会場では製造や物流の現場で役立つ新製品や新技術が一堂に展示されるでしょう。

今回のテーマは「アイデアは現場だけでは生まれない」です。出展者と来場者が共に新たなアイデアを生み出せる環境を目指しました。主催者企画セミナーや産業用ロボット体験ゾーン、出展者各社のワークショップなど、豊富なコンテンツもご用意しております。今年下半期の需要獲得に向けた起爆剤として今回展を活用していただければ幸いです。

ROBOT TECHNOLOGY JAPAN 2024

共催者ごあいさつ

愛知県機械工具商業協同組合
理事長　水谷隆彦

このたび、産業用ロボットや自動化システムの専門展、ロボットテクノロジージャパン（RTJ）2024がAichi Sky Expo（愛知県国際展示場）で盛大に開催できますこと、共催者として大変喜ばしく思います。まずもって出展者をはじめ、関係者の皆さま方に心より感謝申し上げます。

「アイデアは現場だけでは生まれない」と銘打って開かれる本展は、2年前の初回展を大きく上回る244社・団体、1320小間の開催規模となりました。産業用ロボットメーカーやシステムインテグレーター（SIer、エスアイアー）、商社などの出展者各社が展示する技術やサービスは、必ずや来場者の皆さまのご期待に沿えるものと自負しております。ロボット導入を新たにご検討される企業はもちろん、生産現場の自動化でお困りの方々にも役に立つ内容となっております。人手不足の時代において、生産現場がどう自動化されるのかを間近で見られる機会として、どうぞ本展をご活用ください。

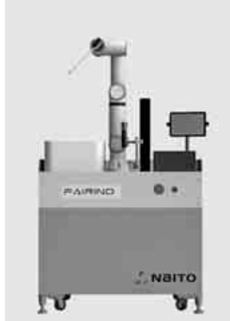
本展を通じ、来場者の皆さまと出展者の皆さまの素晴らしい出会いがありますことを切に願っております。

RTJ2024出展製品紹介

NaITO

安価なシステムを提案

協働ロボ　CR認証取得『FAIRINO』



ＦＡＩＲＩＮＯを用いたシステム

NaITO（東京都北区昭和町）は、テーマを『高速検査と協働ロボの安価なシステム提案を』とし、次の製品群を出展する。

協働ロボットについては、ロボット分野で初のCR認証を取得した安価な「FAIRINO FR5／FAIRINO FR5（中国製）」を出展。FAIRINOは、自社開発のリアルタイム制御システムを採用し、柔軟性、安全性、操作の容易さなど、優れた精度と安定性を備えている。

会場では、本多電子製のシステム組込を想定した超音波洗浄機とオヂヤセイキ製デジタルエアマイクロメータを用いたワーク内径の自動測定システムを活用したシンプル且つ安価で実用的な提案を目指す。

続く提案は、NTN社製の手首関節モジュール「i-WRIST®」の先端にカメラ・照明を搭載し、アルミダイキャスト部品の表面の傷やバリの高速検査及び自動化である。

「i-WRIST®」は、高速の位置決めが得意で、会場内では自由自在な動きを実現。高速性、操作性、省スペース等、様々な特長を持ち生産現場の課題解決に貢献する。

さらに、テクノホライゾン製のデジタルホワイトボード「ELMO Board」を用いたロボットシステムとコラボしたDXのソリューションを提案。進化したホワイトボードが、〔保存〕〔共有する〕〔映す〕〔書く〕をデジタル化、スピーディー且つシンプルで使いやすく、あらゆるシーンでコミュニケーションを活性化する。

小間番号：E06
【問合せ先】本社☎03（3800）8651、名古屋☎052（822）4110
https://www.naito.net/

こうら

エアを電動移行で省力

UFOキャッチャーで楽しく体験

こうら（名古屋市熱田区河田町）は、カーボンニュートラルへ取り組む製造業へ向け、消費電力量や温室効果ガス発生量の削減につながる提案を行う。

ブースに登場するのはお馴染みの『UFOキャッチャー』。このUFOキャッチャーは、駆動部にエアーシリンダではなく、電動シリンダを使用している。電動シリンダは、エアーシリンダと比較して、多点位置決めや繰返し精度に優れており、その特長をクローズアップし、現状設備の見直しを提案する。

今回UFOキャッチャーをモデルしたのは、日常感を持たせるのとブースにおいて、そのUFOキャッチャーを楽しみながら体感してもらうかたわら、省エネ効果を実感しカーボンニュートラルへの意識を高めてもらいたいというのがねらい。

なお、キャッチングする景品については、当日のお楽しみ…である。

電動シリンダ仕様で省エネの提案をするＵＦＯキャッチャー

このほか、自動車部品のスポット溶接治具を出展。これは、ベークライトの土台に位置決めピンやガイドを付け、ポカヨケ対策を取り入れながら設計製作する。

また、空箱と製品の入った箱を自動で交換する『箱替え機』、人手不足、自動化、品質を安定させたいなどの生産工程の課題をロボットの活用で解決する『ロボットユニット』等もパネル展示する。

さらに省エネ、省力化に関するあらゆる相談に対応し、的確なアドバイスをする。

小間番号：E40
【問合せ先】☎052（681）3371
https://www.koura-mt.com

オーエスジー

ロボット部品加工に最適工具

非鉄用DLC超硬エンドミル

オーエスジー（豊川市本野ケ原）は、ロボット部品加工に最適な切削工具を出展する。ここで紹介する非鉄用DLC超硬エンドミルは、非鉄金属加工に適した「標準仕様」と多様な加工に対応する「高機能タイプ」の2種類。

非鉄用ＤＬＣ超硬エンドミル標準仕様

標準仕様『AE-TS-N・AE-TL-N』は、耐溶着性や潤滑性が求められる非鉄金属に抜群の威力を発揮する〝DLC-SUPER HARDコーティング〟を採用している。良好な切れ味により、バリを抑制し、優れた加工面品位を実現する。

高機能タイプ『AE-VTS-N・AE-VTFE-N』は、多様な加工に対応し高能率かつ高品質加工を実現する。厚膜タイプの〝DLC-IGUSSコーティング〟を採用し、工具の耐久性を向上させる。

また、立ち壁対応型『AE-VTFE-N』は、L/D＝5以上の立ち壁を2.5D刃長により最大2Dの大きなステップ切削で高能率・高精度な加工が可能である。

さらに、ショート形のスクエアタイプとピンカドタイプには、φ1〜φ2.5をラインナップ。精密切削加工に対応する。

このほか、歯車を加工するスカイビングカッタ、ねじを熟知したタップメーカーならではの高精度・高品質なねじゲージなどを展示する。さらに、同社主力のドリル、エンドミルを取り揃え、顧客の加工に合わせた最適な工具と技術を提案する。

小間番号：C37
【問合せ先】本社☎0533（82）1111、名古屋営業所☎052（703）6131
https://www.osg.co.jp

中部部品加工協会

工具脱着の完全自動化提案

業界初の消耗品の完全自動管理紹介

中部部品加工協会（名古屋市名東区亀の井、代表理事＝村井正輝氏）は、ロボットテクノロジージャパンへの出展は2回目、前回は150社を超える協会ネットワークの検索や便利ツールをダウンロードで出来る『みつツク』の展開を紹介していた。

今年も『みつツク』は更なる進化と拡大を続け提案活動は続けていくのに加えて、協会内の自動化や仕組み化が対応可能なメーカーやサービス業が集まり10社以上の会社で省人化サポートチームを結成し、ロボットを使った自動化やそれ以外の業務の効率化などの提案を強化している。

今回のロボットテクノロジージャパンでは、その中でも新ブランド『CRAEVO』で協働ロボットの新ビジネスとショールームをオープンした丸正精工は、協働ロボットでの工作機械の工具脱着の完全自動化の提案と、『OCTOPUZ』でロボットのシュミレーションソフトを提案するジェービーエムエンジニアリングが連携提案するところが大きな見どころである。

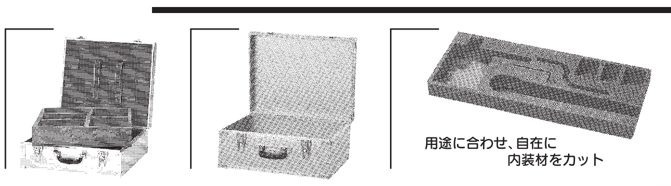
それ以外にも加工品の相談対応や加工メーカーが材料供給装置や治具、検査器具の製造対応をすることであらゆるニーズに対応できる強力なフォーメーションである。

また協会管理会社である村井は、エンジニアリングサービスで工作機械やFA機器のトータルソリューションや教育サービスを展開しているが今回、工具や消耗品の完全自動管理を業界初提案する。既に協会内で実用が始まっており、『MURAKAN』（ムラカン＝村井の簡単管理）というサービス名で商標登録済みとのこと。管理業務自体が基本はなくなるという省人化を極めたサービスであり、供給側と需給側の連携が必要なためどこまで浸透するか今後の展開が気になる新サービスである。

小間番号：D09
【問合せ先】☎052（753）8443
https://japan-parts.org/

―― ＮＣ工作機械・工具の総合商社 ――
株式会社 新栄商会
SHIN-EI
■本　社
〒468-0056　名古屋市天白区島田二丁目516番地
TEL(052)801-1222(代)　FAX(052)803-1321
■営業所
名古屋営業所　TEL(052)801-1264　FAX(052)803-1321
豊田営業所　TEL(0565)53-6561　FAX(0565)53-6562
三河営業所　TEL(0566)92-3501　FAX(0566)92-4595
小牧営業所　TEL(0568)22-6611　FAX(0568)22-6631
豊川営業所　TEL(0533)83-6051　FAX(0533)80-7341
岐阜営業所　TEL(058)371-5011　FAX(058)371-5021
津営業所　TEL(059)231-2111　FAX(059)231-2113
浜松営業所　TEL(053)545-9970　FAX(053)545-9972

精密・測定・電子機器、部品の収納トランク、ケースを
別注品トランク
一台からご要望どおりに製作します。



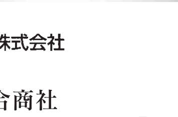
取り外しのできる型抜き材
あらゆるモノをパワフルにガードするSTシリーズ（アルミ合金製）
用途に合わせ、自在に内装材をカット
●機器搬送・サービス用トランク
●現金・重要書類用トランク
●現金輸送用トランク
●コンピュータ関連品各種
株式会社 ダイトウ トランク
機械工具の総合商社
近代精機株式会社
KINDAI SEIKI CO.,LTD,
http://kindaiseiki.co.jp
住所：名古屋市南区内田橋2丁目8番1号
TEL：(052) 692-8201代表
FAX：(052) 692-8225

MADE IN JAPANのTOOLを
世界に発信中!!

中華人民共和国
滋賀
名古屋
岐阜西
上海
マニラ
フィリピン
伊藤信本社
イトーノブ
ITO NOBU
E-mail:info@ito-nobu.co.jp
URL:www.ito-nobu.co.jp
グローバル企業を目指す機械工具の総合商社
伊藤信産業株式会社
■本　社　TEL 052-871-4641　FAX 052-871-6257
■滋賀営業所　TEL 0749-45-5177　FAX 0749-45-5188
■岐阜西営業所　TEL 0584-47-7622　FAX 0584-47-7633
■中国：上海法人　TEL +86-21-54220999　FAX +86-21-64062570
■フィリピン法人　TEL +63-49-502-3638　FAX +63-49-502-3727

AMAZING PRODUCTIVITY
究極の高能率加工
LOGIQ3CHAM
THREE FLUTE CHAMDRILL
［ロジック3カム］
×3倍速
3枚刃 最強最速 ヘッド交換式ドリル
セルフセンタリング形状 高精度な穴加工に有効 加工径Φ12-25.9mm
座ぐり穴加工用 フラットヘッド
1.5XD
3XD
5XD
8XD
ISCAR WORLD
■代理店
滝川物産株式会社
本　社　名古屋市中川区舟戸町 5-23　〒454-0805
TEL (052) 363-2101　FAX (052) 363-2108

すべりねじの問題を解決
異音や摩耗の軽減
■表面処理種類の選定や、材質の選定等により、音鳴りや摩耗を軽減します。
錆の抑制
■表面処理により、錆の発生を抑えます。
高精度管理
■研削ねじ等の高度なねじ精度のすべりねじを製作します。
【すべりねじの用途】
・半導体製造装置　・印刷機械
・医療機器　・工作機械
・食品機械　・梱包機械
・アミューズメント他多種



人の力を技術の力に―
TOYO 東洋シャフト株式会社
代理店　伝動装置用品総合商社
株式会社 イワタ
〒466-0059 名古屋市昭和区福江一丁目22－6
TEL（052）871－4181(代)
FAX（052）882－3263

高精度耐摩耗治工具
超硬／ダイヤモンド／CBN／セラミック

http://www.fuji-inc.com
藤工業株式会社
FUJI INDUSTRIES CO.,LTD.
〒455-0803 名古屋市港区入場2丁目411番地　TEL.052-383-8783　FAX.052-384-7383

『提案します』
多彩な知識
主要取扱商品
電動工具
作業工具
測定工具
INTO 印藤産業株式会社
本　社　〒450-0003　名古屋市中村区名駅南四丁目３番４号
電　話（052）571－3531番　Fax.（052）571－0959番
金沢営業所　〒921-8043　石川県金沢市西泉５丁目１１６
電　話（076）243－3681番　Fax.（076）280－8555番

タンガロイ

売上高15%増目指し拡販
中部タンガロイ特約店会が総会

タンガロイ（本社＝いわき市）中部地区特約店で組織する中部タンガロイ特約店会（会長＝水谷彰宏氏、東亜機工）２０２４年度第32回定時総会が5月13日、名古屋マリオットアソシアホテルで開催された。

水谷会長は開会あいさつで「ほぼコロナ以前の環境を取り戻し、経済面では、現状は円安がプラス材料に作用している。米国の大統領選によって為替の変動が懸念されるが、世界情勢を鑑みながらものづくり業界も方向性を見定め、当会においてはタンガロイ製品に自信を持って拡販に努めて行きたい」と述べた。議案審議では、事業報告、会計報告他承認、事業計画案では販促支援活動、親睦行事が盛り込まれた。また、販売活動にかかわる会則の改定が承認された。

議案審議が進められる定時総会

開会挨拶する水谷彰宏会長

木下聡社長

議案審議の後は、賛助会員代表高田研至氏があいさつ。ものづくり業界は、２０２４年当初からあまり変化はないなど、自動車、工作機械、半導体の動向を判断材料に述べた。また、秋口からは上昇が見込めるとし、「現状の切削工具には、生産性と高精度が求められている。そのニーズへの対応をリードする、タンガロイ製品を引き続き推して行きたい」と締めた。

閉会は石原清延副会長（石原商事）から「特約店会の今後の活動とタンガロイ製品の拡販に会員が結束して臨みたい」とのあいさつがあった。第2部は２０２３年度の成績優良特約店の表彰が行われ、各賞合わせ17社が受賞し、その中で最優秀賞にはシマザキ商会（代表者＝嶋﨑晴久氏）が輝いた。

この後、タンガロイ木下聡社長、松本憲幸執行役員本部長から会社方針について説明が行われた。タンガロイの２０２３年の連結売上高は、トータルで5%アップ。シェアアップも図られたが、国内の切削工具の売上を伸ばすことが今後の課題として上げられた。そのためには「日本で開発して、生産し、世界で販売して行くことが必要である」と木下社長は強調した。

また、２０２３年のトピックを紹介し、ウォーレン・バフェット氏（タンガロイの投資家）の再来日、いわき工場のＢＣＰ／増産／自動化計画、新製品発表件数14年連続№１達成、日本機械工具工業会賞『技術功績賞』受賞、ＹｏｕＴｕｂｅ・ＳＮＳ活用した広告宣伝活動などについて説明した。さらに、「震度7に耐えられる工場を稼働し、ゆるがない供給体制を確立する。２０２４年度の売上高は15%アップを目標に、市場環境に左右されない〝技術とスピード〟を生き残り戦略に取り組んで行く」と強調した。

松本本部長は２０２３年を総括し、次のことをクローズアップ。ダウンタイムを実現するヘッド交換式エンドミル『ＴＵＮＧＭＥＩＳＴＥＲ』拡販プロジェクトの推進～金型ユーザーへのアピール強化。溝入れ突っ切り製品の拡販、付帯工具プロモーションの継続（プログラムサービスのスタート）などが上げられた。

なお、第3部では、懇親会が行われた。

日　伝

新中計26年度過去最高益へ
アペルザ子会社化でDX戦略促進

日伝（本社＝大阪市中央区上本町西、社長＝福家利一氏）は5月8日、大阪市北区の帝国ホテル大阪に主力仕入先の代表を招き、２０２４年度（第74期）事業方針説明会を開催した。

席上、福家社長からこの4月からスタートした第4次中期経営計画での重点施策や投資戦略をはじめ、ものづくり産業向けオンラインプラットフォームを運営するアペルザ（横浜市中区、社長＝石原誠氏）を子会社化した目的等の説明があり、自社ならびに製造業界でのＤＸ導入を促進する方針を示した。

新中計の説明をする福家利一社長

説明会でははじめに、福家社長が同日に発表した２０２４年３月期決算内容を説明。連結売上高は前期比３・６%減の１千２６９億１千２００万円、営業利益は同７・６%減の58億９００万円、経常利益は同４・８%減の64億３千１００万円、当期純利益は同５・９%減の46億７千４００万円で、福家社長は、「第3次中計最終年度の業績は減収減益となったが、計画比では営業利益と経常利益が３・７%増、当期純利益が８・７%増と利益では多少上振れした」と述べた。

続いて、新たにスタートした第4次中計「ＮｅｗＤｅｄｉｃａｔｉｏｎ２０２６～新たな貢献へ」の業績目標について、最終年度の26年度は連結売上高１千５００億円、営業利益66億円、経常利益70億円、当期純利益50億円を設定し、「過去最高益の達成を狙う」と強調した。

また、重点施策として、メインテーマに〝顧客価値の最大化〟を掲げたことにふれ、「昨年、制定した当社のパーパス『つくる人・つかう人の想いを繋ぎ、誠実にモノづくりの未来に貢献する』に基づき、すべての顧客が市場で評価され存在価値を発揮していただくため、日伝の機能と役割を最大限に発揮してサポートしていく姿勢を示した」と表明。

2024年度　事業方針説明会

パートナー戦略では、卸代理店・直販代理店として世の中の変化に対応した役割と責務を展開し、顧客である販売店や製造ユーザーへの供給窓口として、「仕入先メーカーの皆様と連携し、『戦略的協働』から『パートナーシップによる共創へ』の活動を推進する」と強調。

次いで、投資戦略として東部第２物流センターの新設や半導体需要に対応した熊本での物流倉庫拡大などに加え、山善と共同運営してきた「プロキュバイネット」を1月より日伝の１００%子会社としたことを明らかにした。

さらには、3月25日に公表したアペルザの子会社化について言及し、同社の石原社長を紹介。登壇した石原社長は、同社の事業活動であるモノづくり業界でのセールス・マーケティングＤＸ支援の重要性を指摘。「日伝グループのスタートアップ企業として、ＤＸの先行モデルを構築し、業界全体の発展に貢献したい」とアピールした。

なお、説明会の後は、前明石市長で弁護士の泉房穂氏による講演会に続き、懇親会が行われた。

NaITO

物流強化で体制整う
2024年2月期　売上高は440億6千万円

ＮａＩＴＯ（東京都北区昭和町、社長＝坂井俊司氏）は4月26日、オンラインで２０２４年2月期の決算概要及び近況報告を行った。経営成績は、連結ベースで売上高４４０億６千４００万円、営業利益５億５００万円、経常利益５億５千３００万円、純利益３億４千５００万円となった。

一方、主力取扱商品別の売上高については、切削工具が２１４億４千４００万円、計測が40億６千７００万円、産業機器・工作機械等が１８５億５千１００万円となり、その中で計測については、前年比で２・６%増となった。

坂井俊司社長

坂井社長は業績について「当初の予想が下振れ、売上げはほぼ前年と同様に推移したが利益率が低下した」と総括し、次の報告を次年度に向けた方針と合わせて行った。

２０２１年からスタートした『中期経営計画Ａｃｈｉｅｖｅ２０２５』の３年目として重点施策の着実な実行に努め、3月にはユーザーを見据えた設備・機器等の販売統括部門として営業推進部を新設し、その効果が出始めた。

最大の取り組みとなったのが、業容拡大、ＢＣＰ対策及び物流の２０２４年問題への対応とした物流センターの再構築。3月に中部物流センターを移転し拡張、8月には東日本物流センターを東京都内から群馬県太田市に新築移転した。東日本物流センター（東日本全体をカバー）は、取扱製品8万点を格納し、設備では自動収納庫、自動分岐ローラコンベヤなどを導入した。今後は、物流拠点と営業拠点を一体化したことによる強みを活かして行く。

このほか、引き続きビッグフェアへの出展で主力製品、ブランド製品（ＮＲ）の周知を図り、営業効果を上げる。通販の推進等が挙げられた。

また、海外拠点（ベトナム・タイ・中国）についての業績はほぼ横ばい状況とのこと。

なお、２０２５年度2月期の業績予想については、売上高４７５億円、営業利益９億円、経常利益９億５千万円、純利益６億３千万円としている。

アリアーレ

『FastAI』を開発
画像認識AI　70%のコスト低減可能

アリアーレ※（名古屋市西区那古野）は、独自のアノテーションモデル作成技術を利用することで、学習データの生成・機械学習の自動化を実現する『ＦａｓｔＡＩ』を開発した。

従来、画像認識ＡＩの開発には、ＡＩが学習するための教材（学習データ）が大量に必要で、開発費用も開発期間も大きな負担になっていたが、『ＦａｓｔＡＩ』による新たな手法を用いれば、トータルコストを70%削減でき、早い・安い・精度が良いという三大特長を活用できる。

具体的なメリットとしてあげられるのは、

▽大量の写真データが不要。

▽写真の出来栄えを問わない。

▽写真データを使用しないので、著作権の心配がない。

▽３ＤＣＧを作成し、そこから大量の画像データを生成するため、通常の写真収集よりも時間もコストも削減できる。

ナットやボルトの選別

ベルトコンベヤの卵の選別

▽生成した画像データを自動でアノテーション（ＡＩに対象物を認識させる作業）処理をすることで、学習のための質の向上とアノテーション処理のスピードを向上させられる―など。

工場でのコストダウン、ＡＩ検査カメラの導入、ＡＩでのＤＸ化推進、など生産性向上につなげる取り組みに向け、是非試みて欲しいＡＩ機能である。

詳細についての問い合わせは下記へ。☎０５２（９９０）１９７０。ウェブサイトhttps://aliare.co.jp/

※アリアーレ（代表者＝渥美透氏）＝「ロボットをより身近な存在にしたい」をモットーに、ＡＩを搭載した産業用ロボットのモーション作成ソフトウェアの研究に取り組む企業。

服部商会

岐阜営業所を開設
顧客サービスの向上図る

5月9日から営業開始した岐阜営業所

服部商会（愛知県津島市百島町、社長＝服部嘉高氏）はこのほど、岐阜営業所（所長＝若林宗幸氏）を開設し、5月9日から営業を開始した。春日井営業所（愛知県春日井市）に次ぐ拠点で、これを機に岐阜地区の顧客サービスの向上を図る。

同社は、２０１７年に健康経営優良法人の認定（経産省制度）を受け、さらにその中で全国の中小規模法人部門を対象に上位評価に値する５００社に付加される『ブライト５００』の認定もここ数年連続で受けている。

『健康経営』は、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践するものであり、その効果は同社の近年の成長ぶりを見ても明らかである。経営者側だけでなく、社員も既に6名が『健康経営アドバイザー』の認定を受けており、健康経営への意識が高まっている。

今後も引き続き、事業内容の拡充、営業エリアの拡大、優秀な人材育成に取組んでいくとしている。

なお、岐阜営業所の所在地は、〒５０１―３２１７　岐阜県関市下有知39。

共親製薬株式会社×株式会社ノダキ　共同開発の
熱中症対策商品！
水分70%で乾いた体に美味しい！
現場の相棒
塩ビタミンゼリー
冷やしても凍らせてもうまい！
塩分瞬間チャージ
マルチビタミン・ブドウ糖・ナトリウム・クエン酸入
さわやか爽快レモン味
1kg
ボトルタイプ
現場の相棒特設ページ
販売元へのお問い合わせは genba-aibou@nodaki.jp

・社誌、記念誌・会社案内
・総合カタログ・会社経歴書　のご用命は

株式会社　中部機工新聞
TEL〈052〉265-5103　FAX〈052〉265-5104

KITO　アンカー固定不要で３次元搬送を実現！
モバイルライトクレーン

※巻上機がセットになったパッケージ製品も用意！
キトーライトクレーン PROシステム
http://www.slft.co.jp/
株式会社サカイリフテク　名古屋市中区金山1-4-8
TEL.052-331-5381　FAX.052-332-5685

コストダウンとスピードに対応
GrabiQ™ グラビック システム吊り具
チェーンスリングシステムのために開発された部材の使用でパーツ点数を飛躍的に削減。シンプルな構造で作業効率の向上に寄与します。
従来の Grede8 吊り具に比べ強度が約25%アップしました。総重量の軽減
1点吊り用　2点吊り用
マーテック株式会社
株式会社サカイリフテク
〒460-0022　名古屋市中区金山１丁目４番８号
TEL（052）331―5381㈹
FAX（052）332―5685
http://www.slft.co.jp/

ボルトなし！　手間なし！
ワンタッチ着脱
ボルトに替わる締結部品
アタッチメントや治具の着脱などを工具を使わず素早く行えます！
ワンタッチ着脱
新タイプ　ピンホールドクランパー ストロング
以前よりご要望の多かった高いクランプ力を実現、省スペースな強力ピンクランプです。
クランプ力250N
Value Creator IMAO 株式会社イマオコーポレーション
代理店　株式会社　服部
〒453-0043 名古屋市中村区上ノ宮町2-21
TEL（052）481―5336（代）
FAX（052）481―0411

Daiwa system
お客様にとっての、
「ベスト」を提案する。
Good design for customers
お客様へのヒアリングを通して
仕様に沿った特殊油圧ユニットを設計・製作します
https://daiwasystem.com/
http://www.shimizu.co.jp
シミヅ産業株式会社　名古屋支店
〒454-0014　名古屋市中川区柳川町19-9
TEL 052(678)8771　FAX 052(678)8782
本社／大阪市西区立売堀 2-5-23
■本社/大阪　■支店/東京・北関東・名古屋・京都・大阪・東大阪・広島・岡山・九州
■営業所/東北・長野・西関東・浜松・北陸・南大阪・姫路・熊本　■出張所/四国・福山・北九州

「環境に優しく
コストダウン
そんな刃物の使い方」
ご提案します。
信頼できる再研磨製品と納期をご提供します。
ISO 9001 2000年版 移行審査合格
URL:http://www.ongiken.co.jp/
株式会社オーエヌ技研
〒441-1347　愛知県新城市川田字本宮道100番7
TEL0536(23)5362 FAX(23)5385

六角穴付ボルトの締付座、座金専用裏ザグリシリーズ
バックファイヤー
Version Upgrade!
Automatic cleaning tool
Titan 自動清掃用工具
切りくずを清掃する自動清掃用工具
『タイタン』
RYOCO
菱高精機株式会社
RYOCO SEIKI CO.,LTD.
http://www.ryoco.co.jp
本社工場
〒789-1401　高知県高岡郡中土佐町大野見吉野1015
名古屋営業所
〒466-0058　愛知県名古屋市昭和区白金1-14-8
TEL052-872-1351 FAX052-872-1350

中部包装食品機械工業会

中部パック 5万名が来場

創立50周年に花を添える

開会式でのテープカット

2024中部パック（主催＝中部包装食品機械工業会（会長＝生田湧希氏、フジキカイ）は、4月17日から20日までの4日間、名古屋市港区のポートメッセなごや・第1展示館を会場に、『私たちができること～食と包装の未来に向けて～』をテーマに開催され、会期中5万名近い来場者が訪れた。

今年度は、主催者である同工業会が創立50周年を迎え、中部パックも節目と新たなスタートとの記念開催でもあり、業界をリードする各分野の出展者が最新の技術と製品を披露し、来場者の満足度を充たした。

また、小間出展と並行して行われた特別講演会、SDGsセミナー、実演セミナー、補助金セミナー（初企画）、出品者によるプレゼンテーションセミナーなども好評であった。

さらに、「チューピーマルシェ」、農林水産業の「6次産業化推進コーナー」、「包装相談所」、学生向けの「愛知工業大学ロボットミュージアムブース」などの設置、そのほか解決したい悩みに応える「解決ボード」の掲示といった企画も記念開催の付加価値を高めた。

なお、初日開幕直前には開会式が行われ、吉田眞治実行委員長の開会宣言の後代表者によるテープカットが行われ、華々しく開幕した。

次回の開催は2026年。来場者から吸収したニーズを出展メーカーが新たに提案する。

東亜機工

最適な切削工具を提案

TOAジャンプアップショー開催

東亜機工（桑名市大字大福、社長＝水谷彰宏氏）は、第14回「TOAジャンプアップショー」を4月24日午後2時から、柿安シティーホール（旧桑名市民会館）で開催した。

今回は、同社の主力販売製品の切削工具にスポットを当て、トップメーカーが時代背景にマッチングした切削工具を提案した。

昨年の前回展では、人手不足を背景とした、工場自動化や省人化をテーマに協働ロボット及びロボットハンドをはじめとする周辺機器を紹介し、取扱製品の幅の広さを見せた。

今回は、省エネに繋がる高精度をはじめ、カーボンニュートラルに取り組む過程で、環境に配慮し短時間で、効率良い加工を実現するための、各出展者の推奨製品・新製品がラインナップした。

㊤展示会場と㊦講習会

また、工作機械メーカーのカタログ出展と共に、導入に際しての補助金制度の案内など、サポートコーナーも設置された。

一方、見せるだけでなく、オーエスジー（タップ、ドリル加工入門）、タンガロイ（旋削加工の基礎）、MOLDINO（フライスのトラブルシューティング・コーティング技術の紹介）、イスカル（自動盤における生産性向上提案）など4社のメーカーの講習会では、聴講者の知識がさらに高められた。

なお、今年度は11月に第32回日本工作機械見本市『JIMTOF2024』が開催されるのに伴って、同社においては〝AFTER JIMTOF〟と銘打って、11月15日（金）に同会場の複数の出展ルームを使用して、顧客の動員に傾注し、商談の場を展開する予定である。

愛知機工組合

RTJ来場動員へ拍車

6年度通常総会準備整う

愛知県機械工具商業協同組合（理事長＝水谷隆彦氏、ミズタニ機販）は4月25日、理事会を開催し5月28日の6年度通常総会に向け、最終打ち合わせを行い準備を整えた。

総会は、ホテル名古屋ガーデンパレスを会場に午後4時30分から開催される。6年度は任期満了に伴う役員改選が議案に上がっており、5年度事業報告、会計報告、6年度事業計画、予算案と共に審議されることから、各支部総会による推薦候補者の確認などが行われた。

着々と準備が進められている6年度の主要行事ロボット展『RTJ』については、現状報告が行われ、今後の活動としては、招待券、チラシを組合員経由でユーザーに配布するなど動員に傾注する。なお、運営においてはアクセスのスムース化に取り組まれる。

この他、中部ブロック会議（3月14日）、野球大会・第82回決勝（3月31日）、第83回開幕（4月13日）、新入社員研修（4月9・10日）などの開催報告。また、青年部総会（7月2日）、セールスエンジニアスクール（6月13～15日、12月5～7日）の開催予告がされた。

野球大会については、従来青年部の運営協力を得ており、今後負担を最小限に止めるための方法を具体化して行く。また青年部については、年度末に講演会（2月29日）、バスレクリエーション（3月9日）などが実施されるなど、コロナ禍前の活発な活動が戻ってきている。

令和6年度4月理事会

一方、理事会前に行われた三役・常任理事会の報告では、役員組織の新体制について調整案が発表された。懸案の山崎公明事務局長の後任の職員については、牧野克仁氏が決まり、引き継ぎに入る。

なお、議案審議前にはRTJ主催者のニュースダイジェスト社樋口八郎社長、平野清嗣事務局長から、改めて準備の終盤における協力要請があった。

なお、組合員・賛助会員数の状況について、組合員221社、賛助会員107社の報告が行われた。（3月1日現在）

野球大会反省会

運営改善へ意見を交換

なお、同日午後7時からは野球大会第82回大会の反省会が中区錦の「華火」で行われ、審判員、福利厚生部員、青年部員らが参加した。

冒頭、野崎憲昭（常磐精機）大会委員長から、運営協力に対する感謝と労いの言葉が参加者らに傾けられ、既に開幕した第83回においてもより良い大会をめざして取り組んで行きたい旨が述べられた。

乾杯の後は、各席で現状の改善点、新たな取り組みなど順次反映させていくべく意見交換が行われた。

名古屋伝動機商組合

業界の課題へ取り組み

全国大会は来年5月大阪で

開会に際し挨拶する岩田理事長

名古屋伝動機商組合（理事長＝岩田典之氏、イワタ）は4月24日、名古屋市中区錦の東京第一ホテル錦を会場に令和6年度総会を開催した。

今総会は竹中克徳氏（ダイドー）、鈴木俊也氏（高津伝動精機）2名が当番幹事となり、竹中幹事の司会で開会された。

あいさつに立った岩田理事長は、「景況感は不透明感が継続している。業界の問題点としてクローズアップされているのが、人手不足と物流の停滞。人手不足に対しては、その対応として欠かせない自動化・デジタル化の促進につながる取り組みを伝動機業界としてもして行きたい」。また「全国大会に関しては、来年5月大阪で開催が決まっているので、その3年後の名古屋大会も見据えて積極的に参加して行きたいので、協力を願いたい」と述べた。

この後資格審査が行われ、組合員21社中本人出席が17社となり、引き続き議案審議が行われた。令和5度事業報告、同会計・監査報告、令和6年度度事業計画及び予算案承認件いずれも原案通り承認され、長村康義副理事長（長村商店）の閉会の辞で終えた。

なお、総会の席上で初参加の日伝名古屋支店長古川武士氏の紹介が行われた。

引き続き懇親会が行われ、大矢顕常任理事（大矢伝動精機）が「付加価値を生み出す活動をめざして行きたい」と述べ、グラスを上げ乾杯の発声を行った。

中締めは村瀬広幸会計理事（ムラセ）が行ないお開きとなった。

令和6年度総会

なお、新年度事業計画は、総会以降、通常例会（7月、10月）、ボウリング大会（11月）、新年会（令和7年1月）、ゴルフコンペ（同3月）、が計画されている。

金型総会

新任理事長に田中、加藤氏

講演会で〝良き人材育成〟聴く

中部プラスチック金型協同組合（理事長＝加藤正彦氏、三洋製作所）と中部金型技術振興会（理事長＝朝岡正氏、朝日精密工業）は、5月15日、名古屋市中区のCIRQ栄西・ラグナスイート名古屋を会場にそれぞれ総会を開催した。

今総会は任期満了に伴う役員改選が行われ、組合は田中幸好氏（田中金型製作所）、振興会は加藤正彦氏（三洋製作所）がそれぞれ新理事長に、また振興会の会長には名古屋市工業研究所山岡充昌所長が就任した。

議案審議は、事業報告、決算報告、会計監査報告、事業計画案、予算案、新役員の選任などいずれも原案通り承認された。

田中幸好理事長

加藤正彦理事長

新任のあいさつで、田中理事長は「リーマンショックに続き、コロナを経験し、金型業界全体の業績が悪化したが、乗り越えて行くには、これからの時代は企業単体ではなく組織力が不可欠なので、会員を増やして結束を強化して行きたい」。

加藤理事長は「組合で理事長を務めた4期8年の経験を活かし、金型業界の成長をサポートし、技術講演会の実施など、三位一体で事業の推進を図っていきたい」。

山岡会長は「基盤技術を基軸に連携した活動に取り組み、金型業界の課題解決のサポートに臨みたい」など、それぞれ所信の一端を述べた。

なお、今期で退任した朝岡理事長は、「新たな視点で、活動を支援できれば」と言葉を残した。

講演会、正面は伊藤澄夫講師

また、総会後に行われた記念講演会は、講師に順送り金型設計製作などの事業を主とする伊藤製作所（三重県四日市市）代表取締役会長伊藤澄夫氏を招き、演題「良き人材がピッカピカの会社をつくる」を聴講。

同社の二代目社長として経営に携わった経験から、その知見を紹介。企業の未来を担う若い人材の育て方などを、本業以外で培った人脈、エピソードを通して、リアルに伝えた。

「苦手な相手こそ、意識的に接することで、人間関係がうまく育っていく」など、講師の経験談が強く印象に残っている

なお、講演会の後は引き続き懇親会が行われた。

防災用品『アクモキャンドル』

水につけるだけで　2秒で点灯！

災害時にお役に立ちます

▽軽量・コンパクトなのでバックに入れ、常に携帯できます。
▽一度の点灯で長時間使用できます。
▽乾燥した使用環境なら10年近く保存できます。

工具・産業機器事業　環境社会事業

朝日株式会社
〒467-0003 名古屋市瑞穂区汐路町4丁目4番地
TEL（052）680-7581　FAX（052）680-7815
http://www.asahi-kabu.co.jp/
デジタル在庫

住友電工
Connect with Innovation
SUMITOMO
CARBIDE - CBN - DIAMOND
Global Support, Global Solutions.
抜群の交換繰り返し精度で
段取り時間を大幅に短縮
SumiSmall 小型・自動旋盤用工具
ヘッド交換式クイックチェンジホルダ APM型
https://www.sumitool.com
フリーダイヤル いい工具 110番 0120-159110
技術相談サービス 9:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日を除く）
SUMITOMO ELECTRIC GROUP

切削工具 / 測定機器・工具

主要取扱いメーカー
・㈱MOLDINO
・京セラ㈱
・住友電気工業㈱
・ダイジェット工業㈱
・㈱第一測範製作所
・㈱ミツトヨ　他

精密機械工具 販売
株式会社 ミユキ商會
〒466-0054　名古屋市昭和区円上町17番21号
TEL（052）882-0471　FAX（052）872-1563

ISSOKU
標準ねじゲージ

全機工連推奨

機械工具業界に特化したデータと機能で、導入したその日から業績アップが図れる即戦力としてお役に立てます

業界唯一の全日本機械工具商連合会推奨販売管理システム

機工メイトⅡ Ver3
Welcome! KM2 Third Edition

社内業務の効率化　●データベースから商品が特定できる
顧客対応力の向上　●一度の入力で伝票がどんどん出来上がる
多様化するニーズへの対応　●使い方は簡単、利用スタッフが変わっても安心

豊富な商品データベース　機工業界データ収録数 メーカー／卸商社合計 約554万点 以上掲載（※重複あり）

切削関連	工具関連	伝導油空圧関連	管工機材関連	鋲螺、その他
103メーカー	251メーカー	37メーカー	19メーカー	134メーカー

商社様データ：■トラスコ中山 ■NaITO ■Cominix ■オノマシン ■アズワン ■ジーネット ■日伝 ■ユアサ商事

※記載されている会社名及び商品名は、各社の登録商標または商標です。※記載内容は2022年9月末現在のものです

https://kiko-mate.jp/　詳しくは特設サイトをチェック！　機工メイト 特設サイト　検索

電帳法対応済　電子データ送信

BroadleafCloudPlatform"DXサービス" 電子帳簿保存法対応ソリューション 電帳.DX

株式会社ブロードリーフ　https://www.broadleaf.co.jp　全国29拠点
中部営業課　〒461-0004名古屋市東区葵3-22-8 ニューザックビル5F　TEL052-856-2620　FAX052-856-2622

精密測定機器のナンバーワンサプライヤーをめざして

より正確に、そしてよりスピーディーな安定供給が私達のモットーです。

◆大阪営業所	☎06-6762-6041㈹	FAX 06-6762-6141
◆神戸営業所	☎078-926-5241㈹	FAX 078-926-5041
◆京都営業所	☎075-621-6101㈹	FAX 075-621-6165
◆滋賀営業所	☎0749-21-3322㈹	FAX 0749-21-3323
◆名古屋営業所	☎052-322-6241㈹	FAX 052-331-6350
◆津営業所	☎059-238-1335㈹	FAX 059-238-1337
◆静岡営業所	☎054-202-7101㈹	FAX 054-202-7102
◆松本営業所	☎0263-29-5222㈹	FAX 0263-29-5228
◆金沢営業所	☎076-268-6391㈹	FAX 076-268-8391
◆岡山営業所	☎086-263-5121㈹	FAX 086-263-5123
◆福山営業所	☎084-954-0815㈹	FAX 084-954-0849
◆福岡営業所	☎092-432-0700㈹	FAX 092-432-0705
◆埼玉営業所	☎048-433-2929㈹	FAX 048-433-2920
◆横浜営業所	☎045-473-5350㈹	FAX 045-473-5360
◆北関東営業所	☎028-614-1200㈹	FAX 028-614-1201
◆仙台営業所	☎022-288-9881㈹	FAX 022-288-9882
◆Epixis課	☎06-6762-6615㈹	FAX 06-6762-6616

MEASUREMENT PRIDE
UNO
宇野株式會社
〒540-0005 本社 大阪市中央区上町A番23号
☎06-6762-6040㈹　FAX06-6762-7265
URL http://www.uno.co.jp/

西日本商品センター　〒578-0965　東大阪市本庄西2-6-44　☎06-6747-6047㈹　FAX06-6747-6048
東日本商品センター　〒328-0002　栃木県栃木市惣社町1510-18　☎0282-29-1356㈹　FAX0282-29-1357

◆札幌連絡所　◆八王子連絡所　◆広島連絡所
◆盛岡連絡所　◆富山連絡所　◆熊本連絡所
◆秋田連絡所　◆浜松連絡所

UMT タイ現地法人 UNO MACHINERY（THAILAND）CO.,LTD.
バンコクオフィス　TEL:02-716-9002　FAX:02-716-9003
アマタオフィス　TEL:038-213-114　FAX:038-213-115

UPMV ベトナム現地法人 UNO PRECISION MACHINERY VIETNAM CO.,LTD.
TEL:84-3822-5829　FAX:84-3822-5830